



ラオスにおける都市交通

Presentation by Avi Sarkar



**Expert Group Meeting on Environmentally Sustainable
Technologies from Japan**

Fukuoka, Japan

6 November 2013

都市交通の概要

- 急速な経済成長によって以下が発生：
 - 交通におけるエネルギー消費の増大
 - 自動車購入台数の増加
 - 混雑
 - 汚染
- この10年、首都ビエンチャンでは、個人所有自動車数が年平均11%増えている。
- 動力に拠らない交通手段が促進されない。
- 都市交通計画に一貫性が欠ける。

インフラの概要

- 質の低い道路; 市の一部主要道のコンクリートを除いて、ほとんどが土の道路。
- 駐車スペースの不足
- モーターに拠らない交通手段を推進するための十分なインフラが整っていない。
- 近隣諸国との回廊接続に重点が置かれている。



交通の手段



- 交通手段の大部分が陸上交通：
旅客の95%
貨物運送の88%
- 車両の急激な増加。
特に、バイクとピックアップトラック。
- バスの減少。2005-20
- 動力に拠らない交通手段は促進されず、自動車の所有がステータスシンボルとなっている。

法律と規制

点検と整備

- 。 ナンバープレートを取得前の車両点検が義務化。
- 。 ほとんどの車両は決められた定期点検に出されず、初回点検だけでおわる。

交通違反

- 有効な運転免許証を持たずに運転
- スピード違反
- 一方通行を無視した運転
- バイクの2人(以上)乗り
- 路上違反駐車
- 商業施設の駐車場設置が義務化されるも、励行されていない



自動車税

- ・ 車両税:

輸入関税

物品税

25%-90%

(25%-150%に増加, 5年間の集計)

取引高税

25%-90%(車両タイプによる)

- ・ 道路使用税: 年間 \$ 10以下

- ・ 環境税や温室効果ガス排出税はなし

問題

- 安全：
 - 2011年に902人の死亡者。(内206人はビエンチャンにて)
 - 運転態度
 - － ヘルメットや防護服を着用しない
 - － 交通ルールが無視
 - インフラ
 - － 未舗装の道路
 - － 電灯のない道路
- 公害：大気汚染、騒音
- 大量輸送：信用性の欠如、乗り心地悪い、低品質、バスの不足。最近では、新しいバスにより乗客数が36%増えた。(ビエンチャン)

- 駐車場
- 乏しい運転技術
- 都心部への大渋滞



都市交通計画：課題

- 限られた資源
- 能力の不足
- 急激な都市化
- 交通問題への低い意識
- ゆるい整備規制
- 低所得により、支出への低い意欲
- 交通問題が都市計画に効果的に統合されていない

課題解決のために可能な方法

- コンパクトな都市デザインに焦点を当てた都市計画
- バスの台数の増加、高品質化
- 大量輸送交通の代替手段の導入。
- 動力付き／無しの両方の交通手段に対応可能なインフラ整備。
- 教育と意識向上

具体的なニーズや技術協力が求められる分野

- 電気自動車
- ラオスのための最適な燃料ミックス
- 動力に拠らない交通手段のためのインフラ整備
- 道路メンテナンス
- バスのエンジン交換
- ビエンチャンからDong Dok へのインフラ拡大
- 排出規制の強化
- 電灯の増加
- 都市計画－コンパクトな町



